

鑑賞作品名：いろいろな椅子 ～生活の中のデザイン～

個
別
的
理
解

- ④ 鑑賞作品に関する技法・主題等の事実（文献等による）
目的や機能に応じたデザイン（使いやすい大きさ・形・色・材質）

- ⑥ 鑑賞作品を「造形的な視点で捉える」ための発問
「この椅子は何を重視してデザインされていますか？」
- ⑤ 発問に対する生徒による思考（気づき）のシミュレーション
「色々な用途（椅子、机）が考えられるよう工夫されている」
「子どもが使いやすいような色や形の工夫がある」

鑑
賞
的
体
験

- ・ コクヨ株式会社「キャンパス ブロック」、マックス・ビル「ウルムスツール」、エーロ・アールニオ「ポニー」、柳宗理「バタフライスツール」、ポール・M. ヴォルター「コロナチェア」などいくつかの椅子の写真から比較し鑑賞する（いくつかは実物にふれて鑑賞）。
- ・ 共通点や特徴について話し合い、デザイン性と使いやすさについて考える。

俯
瞰
的
理
解

- ③ 美術に関して「自分としての意味や価値をつくり出す」ための発問
「身の回りにある使いやすいデザインには、どんな特徴（工夫）があると考えますか？」

- ② 発問に対する生徒による思考（気づき）のシミュレーション
「使いやすさを考えていくと、シンプルな形になるのではないか」
「誰にとっても使いやすく、使うことが楽しくなる工夫がある」
「使う対象を考えたデザインがされている」

- ① 深く学ばせたい美術の特性・意義等
生活で使用するもののデザインで大切なことは機能性であり、それらは美しさも兼ね備えている。